

平成二十九年十一月三十日提出
質 問 第 七 二 一 号

地方や「まちなか」への移住・定住促進に関する質問主意書

提出者 城 井 崇

地方や「まちなか」への移住・定住促進に関する質問主意書

国では、東京圏をはじめとする地域の中高齢者が、希望に応じて地方や「まちなか」に移り住み、多世代の地域住民と交流しながら健康でアクティブな生活を送り、必要に応じて医療・介護を受けることができるような地域づくりを目指して、「生涯活躍のまち」構想（以下同構想）の実現に向けた取り組みが進められている。

高齢化率が平成二十八年三月時点で二九・〇％と政令市で最も高い北九州市では、高齢者の雇用促進、生きがいづくり、健康づくり等に積極的に取り組んでおり、同構想を移住・定住促進施策の一環として位置付け、アクティブシニアを含めた年代別の事業を検討するなど、官民一体となった取り組みが進められている。

そこで、同構想の実現を含めた地方や「まちなか」への移住・定住の促進を図る必要性を踏まえ、以下質問する。

一 同構想が念頭に置く地域の中高齢者の移住・定住に加え、若者や子育て世代の移住・定住促進に向けた地方自治体の取り組みに対してもそれぞれ国の財政支援を拡充すべきと考えるが、政府の見解を示され

たい。

二 同構想の実現に向けた北九州市版の「生涯活躍のまち」形成事業へ各種支援を国として充実すべきと考
えるが政府の見解を示されたい。

右質問する。